

### ブドウ「ブラックビート」の無核栽培における房づくり

ブドウ「ブラックビート」の無核栽培においては、1房当たり着粒数の多少に関わらず、1粒重、着色、糖度等の果実品質が変わらないため、品質を落とすことなく大房を作ることでも可能である。また、花穂整形時に先端を2cm程度摘むことで、果房の幅が大きくボリューム感のある房を作ることができる。

農業研究センター果樹研究所落葉果樹研究室(担当者:加久るみ子)

#### 研究のねらい

「ブラックビート」は、雨よけ栽培において8月上中旬に収穫でき、赤熟れ果の発生がほとんど認められない着色優良な早生の紫黒色大粒系品種である。しかし、着色が良いだけでは広く流通している大粒系黒色品種の「巨峰」との違いを明確にすることができない。そこで、「巨峰」との違いを明確に示すことのできる房づくりについて検討する。

#### 研究の成果

1. 無核栽培において、1房当たりの着粒数が異なっても、収穫時の1粒重、着色、糖度等、果実品質に差はみられない。(図1)。
2. 利用する花穂の部位や長さによって収穫時の果実品質に差はみられない(表1)。
3. 花穂の先端を2cm程度切り詰め、その上を利用すると、同じ花段数の花穂先端を利用したものに比べ、房幅が広くなりボリューム感のある房を作ることができる(表2、写真1)。

#### 普及上の留意点

1. この調査は、無核化処理にジベレリン12.5ppm水溶液、果粒肥大処理にジベレリン25ppmとフルメット5ppmの混合液を花(果)房浸漬した無核栽培果実で実施した。
2. 花穂の利用部位及び利用長により果房の形状が異なるので、販売方法等により利用部位と長さを選ぶ必要がある。

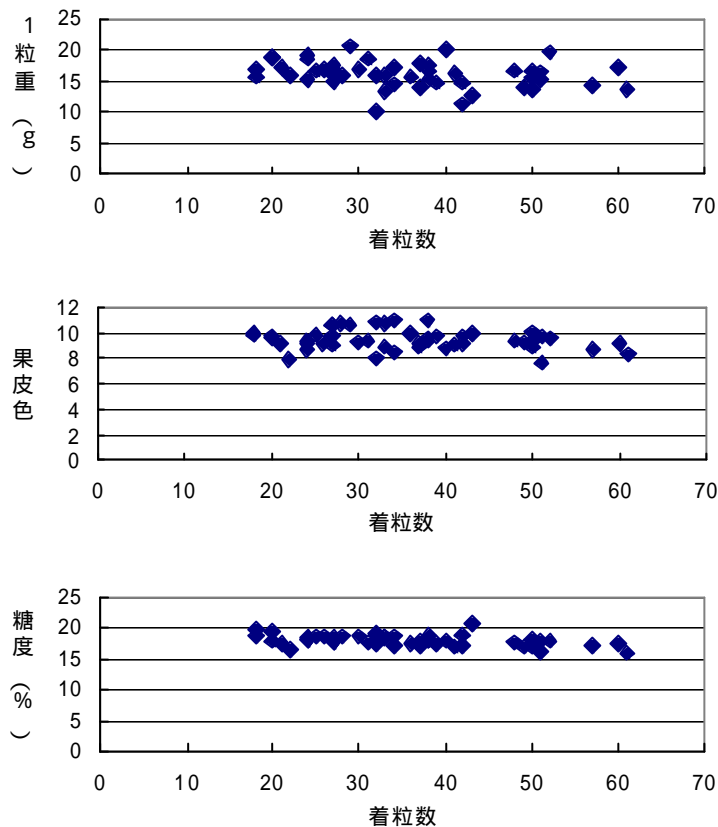


図 1 着粒数が果実品質に及ぼす影響

表 1 花穂の利用部位・利用長と果実品質の関係

花穂利用部位	花穂利用長	1粒重 (g)	果皮色	糖度 Brix(%)	酸含量 (g)	1房重 (g)	着粒数
先端摘取区	2cm	15.0	9.5	17.9	0.44	416	28.2
	3cm	15.8	9.2	17.5	0.44	582	37.9
	4cm	15.0	9.7	17.8	0.45	679	46.0
先端利用区	2cm	15.9	9.7	18.1	0.43	435	27.0
	3cm	16.0	9.4	17.7	0.43	637	40.0
	4cm	15.7	9.1	17.2	0.44	816	52.2

果皮色はカラーチャートⅢ  
 酸含量は果汁100m 中に含まれる酒石酸含量(g)  
 調査は平成20年8月15日に収穫して行った

表 2 花穂利用部位と果実品質の関係

	1房重 (g)	房長 (cm)	房幅 (cm)	着粒数	1粒重 (g)	果皮色	糖度 Brix (%)
先端摘取区	560	15.6	11.1	35.3	16.0	9.7	18.4
先端使用区	525	16.5	9.8	34.2	15.2	9.9	18.3

果皮色は農林水産省ブドウカラーチャートⅢ使用  
 花穂先端摘取区:花穂先端を2cm程度切り詰めその上4~5cm(12段程度)を利用  
 花穂先端利用区:花穂先端3~4cm(12段程度)利用  
 調査は平成19年8月20日に収穫して行った。



先端摘取区(左) 先端利用区(右)

写真 1 花穂利用部位による房形の違い